



香美市いじめ防止 サミットだより

平成30年9月12日
香美市いじめ防止サミット
実行委員会作成

8月28日、香美市役所で「香美市いじめ防止サミット」が開催されました。

いじめ防止サミットとは、高知県いじめ防止基本方針に基づき、いじめ等の問題解決に向けて、児童生徒が主体となった取り組みをいっそう進めるため、実践交流や協議を行う活動です。今回は、香美市内の小中学生・山田高校生の児童生徒の代表43名が集まり、グループ協議や香美市の取り組みについて話し合いました。



最初に、実行委員によるスライド劇（学級を舞台にしたいじめの発生事例）を見てもらい、その人たちが「仲の良い関係に戻るにはどうしたらよいか」を考えてもらいました。グループで出てきた意見を紹介します。

■いじめられた人

- ・友達にさそわれたときに、だめな理由を言ったら誤解をされなかったのではないかな。
- ・先生や親に相談したらよい。

■いじめていた人（中心的な人）

- ・自分のやってしまったことを謝ること。
- ・相手の気持ちを考えること。

■いじめていた人（周りにいた人）

- ・まずは謝る。そして、4人で話し合う。
- ・命令されてもいけないことはいけないと、相手に伝える。



Aチーム

次に、「いじめをなくすために学校で取り組んでいけること」について話し合いをしました。

各グループが発表した意見を紹介します。

- ★ニコニコタイム（友達の良いところを伝える）
- ★レクリエーション（学級・縦割り・全校など）
- ★いじめについて考える時間をもつ。

クラスでできること

- ★休み時間にみんなで遊ぶ。
- ★遊びやふざけてでもたたいたりしない。見かけたら注意をする。
- ★その日あったうれしかったことを言う。

全校でできること

- ★あいさつ運動を続けていく。
- ★一人でいる友達がいたら声をかける。



Bチーム

- ★思いやり集会をする。
- ★勉強を教え合う。
- ★笑顔であいさつをする。
- ★一人でいる人がいたらさそう。
- ★仲良くするポスターをはる。

みんなの意見をまとめると・・・



- ・レクリエーション・・・学校全体で遊んで交流を図る。
- ・ニコニコタイム・・・友だちの良いところを見つける。
- ・あいさつ運動・・・校門の前で、登校してくる児童生徒にあいさつをして、話しやすい雰囲気づくりをする。

このような活動を行うことで、話したことのない人や学年が違う人とも交流を図ることができ、より仲を深めることが出来る。また、新たな友だちの良いところが発見でき、みんなが笑顔になれる。

◇香美市の各学校での取り組み◇



「コミュニケーションがとれる場をつくっていく」

参加したみんなでこのことが共通確認されました。

各学校で、今やっている活動もあると思うので、「なぜやっているのか（目的）」ということ伝えるなどすれば、みんなが意識してできるのではないのでしょうか。

二学期は、児童会生徒会を中心にして、各学校で意識をして取り組んでください。

二学期の終わりには、「取り組んでみてどうだったか」、「何か変化があったのか」など、聞かせてください。



実行委員より

今回、実行委員として、みんながいじめの問題について真剣に、そして深く考えてもらえるように実行委員で話し合いを進めてきました。本番では、話し合いがスムーズに進行できるように、話を広げたりまとめたりするのが難しかったです。

参加者はグループの中で活発に話し合いができていたと思いました。積極的に自分の意見を発表し、グループ内で交流ができていたので良かったです。中学生高校生だけで考えるよりも、小学生が加わることによって、自分たちが思いつかなかったたくさんの意見が出てきたので、意見を広げることが出来ました。

閉会のあいさつ

「いじり」や「つつこみ」もいじめになるので、今後も市内の児童生徒みんな考えていきたいです。



香美市いじめ防止サミット実行委員メンバー

川西 桜・山崎 雄貴（鏡野中3年）、池 結子・西 康太郎・和田 智優（香北中3年）
楮佐古 めい・森本 三葉（大栃中1年）
笹岡 俊介・門田 萌里・出原 武・小松 稜・片山 充（山田高校2年）